

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズアフタースクールびあ		公表日		令和 7年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	定められたスペースを確保しています。	引き続き、安心・安全な環境作りを心がけていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	人員配置基準を満たした、職員数を配置しています。送迎の関係で手薄になる時間帯があるが、送迎を調整し配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	階段に手すりを設置しています。スタッフが階段の上り下りを補助し、安全への配慮を心がけています。室内はバリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		常時、空気清浄機稼働し、加湿器も設置しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	必要に応じて、使用できるプライベートルームを用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	スタッフで計画を立て実践しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	今後も、より良い療育が提供できるよう、情報交換や振り返りを行っていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度、スタッフ間で話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者による外部評価は、行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修を受講する機会や内部研修の機会が確保されています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		アセスメントを行い、保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童発達支援管理責任者と児童指導員で検討を行い、こどもの為の計画書作成を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	スタッフ間で共有され、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	利用契約時にオリジナルのアセスメントツールを使用し、子どもの状況や環境の理解に努めている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		個別支援計画書に記載されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	スタッフ同士協力しながら行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	長期休みや祝日は、様々な意見を出し合い固定化せず子ども達が楽しめる内容を考えています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		一人ひとりの発達に応じ、個々の課題と集団適応、社会性の課題を支援計画に入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	学校やご家庭からの情報も大事にし、子ども達が安心して通えるよう情報の共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		変わった点や気付いたことなどは、情報を共有し適切なサービスが出来るよう留意しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	日々の支援に関して記録をとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		6か月に1回、モニタリングを実施し計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	4つの基本活動を組み合わせて支援を行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援していきます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	3	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議が開催されたことはありません。会議が開催された場合は、最もふさわしい者が参画します。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3	必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	支援級や支援学校の先生との情報の共有を行ったり、年間計画などの予定を確認しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	保護者や相談員を通して情報を収集しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	情報提供等をする体制はあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	発達検査や知能検査を受けた場合、その報告書を保護者同意のもと共有しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		4	当事業所から放課後児童クラブや児童館に直接出向いて交流する機会は設けておりません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	児童発達支援管理責任者又は児童指導員が参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時の際に、その日の様子などを伝える事により家族からの情報も多く聞くことができ、共有する事ができています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	家族等の参加できる研修の機会は設けておりません。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		変更がある時など、その都度説明を行っています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		設定した目標に対して、支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		家族の前で読みながら説明し同意を得ています、	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		困りごとや悩みなどは、時間がある限り聞いて話す機会を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	現在保護者の方同士、きょうだい同士でのコミュニティーをごちから用意することは行っていません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	3	事業所内に苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置し、スムーズな対応と解決を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		びあ新聞や日々の活動の様子をブログで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		契約時に個人情報の同意を得て、取り扱いには十分な配慮を行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		子どもの意思表示の仕方をスタッフが理解し、相互の伝達方法に配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	地域の方を招待する行事は行えていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアルを作成しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		業務継続計画を策定しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		契約時に保護者様から情報を得ています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	契約時にアレルギーの有無の確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		面談を通して、家族等へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止の研修を確保し、適切な対応をしていきます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束を行うような状況があった場合には、組織的に決定し保護者に説明し了解を得た上で、計画に記載するよう努めます。		